

# バストス週報

第1422号  
昭和四十九年  
七月二十二日  
月曜日発行  
Director  
Koiti Mori  
Redator  
Shion Oda  
Rua, Pres.  
Vargas, 188  
C. Post. 112  
Fone 40  
Bastos  
C. P.  
Annual  
Cr. #  
40.00  
Adiant.

## 断崖 30 猛烈インフレと入植祭

ブレフエイツラがバストス入植祭の主導権を握ってからももう本年で六年程になるが、その前までは文協主催だった。その頃は入植祭の費用は、組合、商社、銀行などをはじめとして、一般居住者の寄付によるもので、七年前で三千コント程度であったかと思う。フレフエイツラが経費を受け持つようになったからには、全然発表がないので、どの位デスペーザがかかるものか判らぬ。演芸会に出演する団体などへ手当や補助金をくれるので、相当な額にのぼるだろう。

実は題が悪かった。「猛烈インフレ」だけであつたのだが、「入植祭」直後のことだから、皆さんの注意をそらすまいと、正直いって悪意なき悪戯だとおゆるし頂きたい。

演芸会出演者へ贈る「花」、あの「花」も猛烈インフレのあふりを食つて、まさか一コントばかり入れらる相手の気分を悪くするだけだろう。御花金五コント也、十コント也となると、十人差上げると五十コント、百人上げると百コント、五百コントから一千コントに達してしまふだろう。どの辺で締めくくつか、お手許の遊び金と相談する結果になるだろう。日頃の不義理、交際などで今更やめるわけにもいまいが、滅々貧乏人には、この「御花」に幾はにが手である。また見物に行けば一層劣情も高まるだろうから、全然見に行かぬことにしていけるか、吾々には地球と火星ほどの距離に居るだろう。

いや、何しろ猛烈インフレ、日本では狂乱物価となえていようだが、表現はいずれでもよいとして、一般物価は三〇%や四〇%ではなく、百%というものが倍だが、三倍の三百%に達しているものも少なくない。手近い例では紙類である。週報の印刷用紙など昨年七月に比べると正に三倍、いやたう、おやめなさい、という有様である。ところが、おやめなさい、と

### UAKA

美しい肌が生れるひみつ、説明入  
わかクリーム  
乳液・ウニベルサール  
バニシング  
夜 コールド

### WAKAMOTO

生れつき弱い子にも  
CRESCIMENTO  
ENZIMAS+COMPLEXO B+MINEAIS



最寄りの薬局でお求め下さい

紙類が暴騰したまでは判るが、印刷に付随する一切のもの、チンタとか原紙とか、いつも追いついて値上げするので腹が立つ。原料が三倍になつたから購読料も三倍にすればよいのではないか、という理論は通らぬのである。やつと二割位恐ろしく上げてはみたが、猛烈インフレには太刀打ち出来ない。今年五、六月、昨年の収支決算表を作成したら、何と赤字一歩手前であるのに冷汗を覚えた次第で、最後で食つて通つただけ、と発表するのは哀れなりける次第である。

日本で大根一本が、この一コントに百に当り、鰯一尾がこの一キ口分にあつたとき、成程さすが日本は狂乱物価だけあると悪心の餘り、大根を封んでいる古文房にその話をしたら、何を寝尿かけているんです。この大根一コントよ。鰯だつて五コントするんですと教えられた。上つたのは紙だけじゃなく、下つたのは卵だけかと、自分のうかつさに、やたらと腹が立つのである。よく養鶏家は、鶏物価が高騰するのには、よく養鶏家は

### 養鶏家各位へ

卵が値下りをしても平気で居られるな。飼料は上るのに、弱音を吐かない、えらいものだと思ふ。

去る七月九日、バストス農村協会養鶏部の大会がありました。其の節色々な議題の中で、鶏糞について左の様に話合がありました。

平穩な年ならブラジルは過去のインフレを克服して一五%からせいぜい二%どまりのところまで食い止めていたのが、昨年末突如として起ったアラブの(OAP)石油大輸の値上げ作戦に牛耳られ、石油資源のない諸国は皆アラブに征服されしまひ、その御機嫌通りに泣かされた有様であった。石油高騰は諸物価の高騰に直結するので、今年インフレは世界中を暴風の野にさらし、いふ迄なしにインフレ洗礼を浴せられてしまつた。日本などは資源のない国だから、石油危機に火がついて狂乱状態を演じ、政府の厚生省が物高騰を法令で規制しているが、商社も御無理ご尤もと云つて居られず、次第に巻き返すの正規品二一品目はすでに件をとつたと新聞に報せられて、いふが、車角首相がいかんが、いふと、号令で物価で動くものなり、こんな結構なことはない。どこか、今年の秋には再び狂乱物価が再燃するだろうといつて居る。それは日本の話だが、世界各國大なり小なりインフレに悩まされて居るのだ。ひとりでインフレだけが超然として居るわけにはいかぬ。おつき合いとでもいふか、すでに二二%の上昇率をマルカシ、蔵相の発表では三十二%程度になる見込みといふことだ。

### AVISO AOS AVICULTORES

- 他地域ではトン当り、三百クルセーロス以上である
- 化学肥料に比して鶏糞価は安過ぎる。
- 七月下旬から施肥期に入り、鶏糞の需要は急速にのびるものと思われ。
- 養鶏家相互の利益の爲め、安値で売ることやめ、充分考慮して売れる。急がない様お願い致します。

### バストス農村協会

この三十二%といふのは、平均の意味方法だろうが、卵のように夕べに押えらうと思つたものが、卵のように夕べに押えらうと思つたものが、統制のきかぬ技術の買ひ控えること、原料を輸入に仰いで居る製品の値上りすること、経済のことが判らぬので三二%止アツプだけではインフレに追いつけぬからといわれても、私などにはピンと来ない、どうにも仕様がなからう。

こつた、話の前に戻らるが、今年の入植祭には五〇ぐらゐ、一時後の此頃は五、〇〇の物はない、いけななというが、いすれもか三〇の〇になつて居るから、やはり三費用節約から来て居るらしい。有名野球が三〇の〇になつて居るから、やはり三費用節約から来て居るらしい。有名野球倍だ、エビなどもつとむといふ。恐らくチムを三つも四つも招待すると莫大な五倍ぐらゐになつて居るだろう。野菜で費用が加かる。街路のデコラツソンは、もその通り、二倍、三倍は通例である。したこともあるまいが、祭典委員会は一般食料品に關する限り何十%ではなく、從居してゆく人、市役所の更替、文協の何百%の値上りである。

實際このインフレがもっと上つても決等何れも無報酬、ほんとのサービスであるし、下るものではないが、高ければ高い、縁の下で力持ちをする人があるから、なりに困まつてしまふか、落付くがして役者が舞台でうまくいき、その上御義願しまへば、それなりに寛裕のできるものとあつて、御義金一封、出るのだから、であるが、急進中は打か打か不愉快。世の中はうまい仕組になつて居るのであるもので、左様でござるかなどと、こゝに、空花不存は淋しいが、会場がないため、すましては居られぬものだ。仕方がない。折角の生花がしおれてしまふから、その整とは云うものの、一言ぐらゐ、折角の生花がしおれてしまふから、その整てみたいのが人情であらう。

話の前に戻らるが、今年の入植祭には五〇ぐらゐ、一時後の此頃は五、〇〇の物はない、いけななというが、いすれもか三〇の〇になつて居るから、やはり三費用節約から来て居るらしい。有名野球倍だ、エビなどもつとむといふ。恐らくチムを三つも四つも招待すると莫大な五倍ぐらゐになつて居るだろう。野菜で費用が加かる。街路のデコラツソンは、もその通り、二倍、三倍は通例である。したこともあるまいが、祭典委員会は一般食料品に關する限り何十%ではなく、從居してゆく人、市役所の更替、文協の何百%の値上りである。

理も出来ないという。やはり活花展はし  
ろいサロンのなげればうまくないだろう。  
芝居のなげはきびしい。踊りと唄だ  
けでは、つまらぬという。悲嘆の声もある。  
演劇というものは、単純に出来るも  
のではなく、脚本がいろいろ、役者も揃えね  
ばならぬ。最近ではバストス婦人会の演  
劇が断然頭角をあらわしていたが、やは  
り新脚本を得て、衣裳をこれに合わせ、  
少くとも三ヶ月くらい前から練習しな  
い、サマにやうな、それには相当  
期限を置いて「お願」かと是非やってみ  
れと、おだてなければやれるものではな  
いと云う。

いけ花の素材の花一つ、買うにも聖市か  
う取よせると、一人前十コソトとして、  
百人前九コソトかかると、芝居とも  
なれば小道具と衣裳だけでも相当かか  
るであろう。やってみても声がかからな  
いのに物好きに買っても出られまい。  
やはり、祭典には祭典委員を早くしつら  
え、演芸は一切文協に委せる。費用は何  
程かかるか、オルサメソトを出せ、とい  
うような方式を以ってしなれば、受け  
る方がやりづらからう、というわけだ。  
バストスの入植祭は四十数年の歴史と  
沿革があり、三年目に一度、五年目に一  
度というようなものではなく、玉子祭り  
というのも、すでに二十六年に及んで居  
るが、特に州政府の援助を受けるのは、  
五年目毎の大祭の時だけという。  
どうか、吾々一世の作り上げた祭典の  
様式をつとめて擁護し、異色あるものと  
して、子女孫々にのこしてもらいたい。  
猛烈インフレは急には影はひそめな  
い。祭典を色褪せたものにしないうよう頑張  
っていただきたい。

系音

下で、あろう。小鳥を眺めて暮す生活が  
、もし当人が充分に財力を持って悠々自  
適しながら趣味で飼っているのなら優雅  
なものだろうが、茂造は三歳の子供の  
興味からただほんやりと眺めているだけ  
なのだ。しかも来年の彼がホホソ口に水  
をやるように発育する可能性はないの  
である。  
茂造は、モシモシという音声以外の言  
葉は滅多に口から出さなくなっている。  
山岸夫婦はこれを真似て、互に相手をモ  
シモシと呼ぶようになった。そしてエミ  
が胡うかに笑い転げている。それはまあ  
夫を山岸君と呼ぶよりはいいだろうと思  
子も思った。いずれにしても茂造が少し  
も迷惑がられず、むしろ新給夫婦の生活  
のアクセントになっっているのが、親子か  
うすれば本当に幸運だった。誰よりも茂

山岸君は留子に、  
「何かも忘れてしまっただけは悪くないね。エミは理想だ。言っただけで、原  
始時代の人間は尻なんか拭けなかつた。た  
しょうからね。住居に侵入がつかないで、糞  
尿が肥料になることが分ったのは、日本  
では豊臣秀吉の時代なんです。おばさ  
ん。都市の形成に付随して生れた智慧で  
すからね。お爺ちゃんはその以前の人間  
の姿に戻ったんでしよう。」  
おばさんと呼ばれて留子はたじろいた。  
叱咤に返事が出来なかったが、このと  
き会得したのは、この若夫婦は一万円以  
上の関心を茂造に払っている、観察し、彼な  
りの定義付けを行っているという、ことと  
、しかし彼は一向に自分たちの未来図  
にこうした老化を計算していかないという  
ことだった。彼らはあまりも若いので、  
自分たちが齢をとることなど、考えるこ  
とが出来ないのだから。敏もやはりそう  
だった。敏は自分の両親が、老いように  
ならないことを望んだが、自分も老いる  
ことまでは思及しないようだった。若  
者はなんと頑なに自己本意なもので、誰  
もが彼らと同じように幸福だと思ってい  
上段左へつづく

**LUCELIA**  
*Dr. Sinhiti Yamamoto*  
*ortopedia - Fraturas - Reumatismo*  
Cons: Av. Brasil 989, Fone: 241, Res: R. Amazonas 1955, Fone: 425

整形外科 骨折 神経系統  
◆聖市医科大卒業

診 療 所  
パウリスタ線  
ルッセルリア市  
アベニダブラル 九八九番地  
電話 二四一

自 宅  
アマソナス街 一九五五

診 察 時 間  
午前八時〜十一時半  
午後一時半〜五時半  
土曜日 正午まで  
日曜日 休診

# MEDICO OCULISTA

Dr. KAZUICHI KAMEI  
Dr. CLOVIS E. SILVA

Doenças dos Olhos  
Prescrição de Óculos  
Local-Hospital (Bastos)  
Consultas marcadas no Hospital  
Dia: 27/07  
Horas: a partir das 8.00hs.

## 視力検査

Dr. カズユキ 亀井  
Dr. クロビス エシルバ

眼科及び眼鏡の度検査致します  
バストス病院にて

七月二十七日 午前八時より  
(希望者が少なければ週二回位)

視力に適した眼鏡を用いねばいけません

造が山岸夫人の工ミに好意を寄せ、彼女に呼ばれるとにっこりする。天にも昇る心地かもしれない。

週に三日の出勤は、月収が減ったけれども事務所でも歓迎された。昭子も仕事を失う心細さから解雇された。週に四日も家にいろということになる。昭子の暮しの中に潤いを感じ掛ける時間的余裕が出来た。毎月十三日と二十三日には隣町の境内で妙法寺の縁日がある。茂造の手を引いて出かけて行き、茂造が金魚釣りを面白がって踏んでしまった。草花の苗などを買った。庭とも呼べない小さな空地だけれど、朝顔や向日葵、サルビヤなどを植込んだ。土いじりなど十年この方したことがなかった。昭子は楽しかった。向日葵は植えるのが遅かったかと思つた。向日葵は植えるのが遅かったかと思つた。

昭子の背ほどの高さになった。古いハタキの柄などで支え棒を立ててやりながら、その場所は拾得、茂造が夜になると小便を足していたところだったと思つた。山岸君の便所の考察を思い出して、晩年の豊臣秀吉の顔は茂造に似ていたろうかと思つた。可笑しい。

朝顔の花が咲き出すと、朝顔を開けるのが楽しくなった。

「お爺ちゃん、お爺ちゃん、ほら咲いてますよ。朝顔が、今日は七ツも咲きましたよ。ほら珍らしい水色のも一つ咲いたわ。ね、お爺ちゃん」

小鳥に餌をやりに、水をやり、籠を軒にも吊すと、ホホジロも花が好きなのか、よく歌って鳴く。茂造もここにこして居る。

「お爺ちゃん、お爺ちゃん、いけません。昨日、彼は寝起の機嫌が特によい。朝顔が凋むと、日の盛りは暑さは物凄か。家ではどうするともできない。水を撒いても日中はたまた湯気のように庭から立ちのぼってきて、その湿度が家の中にこもる。茂造も、ときどきぐったりと畳の上に転んで寝るをするようになった。夜はときどき道いまわりの、モシモシと昭子を起すのび、一日おきぐらいに鎮静剤を飲まして居るが、この暑さでは茂造も応え難い。車の暑さは変らないが、めっきり瘦せてきた。もう長くないのでないかと、信利も昭子も目に出さないが、どう思っている。

庭にゆっくりと降りると、燃えるように赤く咲いて居るサルビヤの前に隔った。真夏の直射日光は、茂造の肉体に降り注ぎると心配したが、何を訴える気になつたのか昭子は興味半分で見守っている。茂造が起き上がって、婦は半襟の姿でもつれあつて居る。昭子は一瞬そう見えたのである。

組合って二人の鉢が離れ、ビギニ  
で最小限の部分を捲っていた工ミが立  
上ってきた。

「あら、お爺ちゃん、なあに、この花を  
私にくれるの。ああ、そう、有がとう。  
ちよっとモシモシ、見てよ、私に花を贈  
ってくれる男性がいるんですよ、モシモ  
シ」

「よかっ、たね、それに付けてもこの暑さ  
かなだ」若き夫は海パンツ一つで、上  
半身が裸だった。意外に肌の色が白く、  
ひ弱な躰つきだった。工ミが、それとは  
比較にならない立派な肉体系を示してい  
る。彼女は台所からコップに水を入れて  
きて、茂造の捧げた真紅のサルビアをさ  
して、茂造の夫に向って言った。

「モシモシ、花というのはいや、ぱりい  
わねえ」

「モシモシ」 「なあに」 「異議なし」  
「も一度水を浴びたいか」 「異議なし」  
若し夫婦はあさりの暑さに水着姿にな  
って互に水を掛合って涼をとったり、ど  
ろ寝転んだり、互に背をもたせたり、ど  
のとさどとの楽な姿勢で、二人とも読書  
中であつたのだ。しかし恋愛結婚だから  
、読書中も、互をからめたり、妻の腰を  
抱いたり、夫の腕に鉢をすり寄せたり  
、これは暑さにも負けないところなのだ  
ろう。

茂造は、やがて戻ってきた。帽子は此  
る気にはなれなかった。

「この話は、そろそろ信利にした。  
「ふん、花をあげたのか、ロマンティッ  
グだな。親爺は若い頃、そんなことをし  
たのだらうか。」

「分りませぬよ。私たちの知らない半面  
が出てきてゐるのかも、しれないんですか  
ら、それにしても親爺の晩年がこう幸せに  
なるとは思ひがけなかつたな。工ミさん  
「というのかい、水着になつたらさぞグ  
マ、いだろう。かなりの美人じゃなにか  
「そいつは僕も見たかつたよ。大学出  
て大学院へ行く女性なんぞ、知性の固ま  
りみたいにして、たけど、ビギニみたら  
普通の女の子ねえ。大学へ行くのが特別  
のことじゃなく、なつてゐるのかしら。あ  
なたも花を贈りたくならんじやない、山  
岸君に投げればされたらして」

「聞士だつたらしいからな、危い危い  
「でも意外と貧弱な躰なのよ、あの子。  
いかにも勉強が好きなんだね。故も気を  
つけなくちゃ。あの子も細かいから」

「しか、僕は見直したよ」

「何をですか」

「今どこの若い者っていうが、君の前を  
聞くと、離れの二人は親爺には親切らし  
いじやないか」

「そなたのよ。頼みもしないのに、おむ  
つまで取り替えてくれてゐるんですもの  
。私が恐縮したら、別に感謝されるよう  
なことも、ないって、いうの。社交辞令で  
もないみたい」

「それが新しい倫理の基本になるのか  
「どうか分らないけど、私もお爺ちゃん  
の晩年が、こんな華やかで幸福なものに  
なると思わなかつたわ。よかつたわ。  
ほんとうに」

茂造の鉢が少しづつ少しづつ弱くなつ  
てゐるのは見てとれた。入浴がかなり疲  
の体を疲れさせることも分つてきたので  
、一日おきに膝を使つて下半身だけ潔め  
てゐる。

「御礼追加  
去る七月八日発行週報に掲載致しま  
した山本順四郎様へお礼申し上げます。

「長の家教会様の  
名を落着かせておりました。  
謹んで追加させていただきます。

バストス 中央第五区  
山本 久枝

御案内

来る八月六日午後二時から五時迄

講話大会

此の度日知本山から重鎮特派使

藤原了義氏

御一行がお見になられ、講話大会が  
催されます。

どうか連絡不届けの処もあると思ひ  
ますから、此の紙上案内で御近所衆  
お誘い合つてお集り下さいませ御  
たのみ申します。

バストス南米本願寺理事會

皆々様

訪日の旅

(双樹) 梶山茂平

(3)

観光(伊勢)

この二見神社の御神、猿田彦尊の大神は、天孫降臨の際伊勢、伊勢神宮御鎮座の時道案内をせられたので、古来交通安全の守護神として信仰されたのであり、また其の華帰るとか、貸した物が返るとかなどの縁起からもお祀りし、境内にも沢山蛙の置物が置かれてあるのです。二見とも別れて伊勢市に向った。三重県は蘇堂高虎の居城三十五万石の城蹟を石に見て、長さ百廿、幅十五に及ぶ伊勢平野がある。四日市、関市、桑名市と、トネルは一千四百あり、この辺から伊勢平野が開け、津市に入ると、やくざ、吉良の仁吉で有名な荒神山がある。津市は三重県庁の所在地であり、伊勢海道の要害の地である。津市は日本一短かい名前の町で、又日本一の長い一本町である。ガイド嬢が笑いながらの説明である。

AULAS DE PIANO

Professora ELZA YUGUE TAKATA-Informação; Fone 93



を習いたいお方に

教授いたします

詳しいことは話し合いの上で

エルザ 弓削高田

FONE 93 EASTOS

間も打く松坂町である。松坂市には、鈴の家といつて、本居宣長の学問をした家が残っている。宣長は必要に応じて家から、弟子を呼ぶのに鈴を鳴らしたところから、誰云うとなく鈴の家と呼ばれ、今尚記念物として残されている。この辺も大変温泉の多い所で、一千の温泉と七千の湧き出し口があるとの事である。

宮川大橋を渡ると伊勢市に入る。未だ四月の初というのに、家々には鯉鱈がはためいている。ガイド嬢に訊いても毎年四月初めより五月一杯続くのだそうである。鯉鱈は今から百三十年程前江戸時代の庶民の間から生れたもので、一尾黒色一色白、非常に単調だったものが、今は白赤青黄と多種多様で、十三色も使ったものもあり、大きさも十、五、三、二と様々で、小さいものはアパルトの窓から流れている。そして皆一様にブラ子ッコ製である。

伊勢は伊勢海老鯛蛤などの海産物があるが、海洋汚染で、特問題になったこともあるが、今では旧に復し、安心して食べられるようである。伊勢市は日本最古の町と云われ、神宮は千三百年の歴史を持ち、六十年に一回の式年遷宮があり、去年がその遷宮の年であった。宮大工も今尚徒弟制度で守り、弟子を仕上げ、十五歳で弟子入、三十歳で一人前、五十五、六で棟梁となる制度が踏襲されている。

伊勢にはお成街道と云って、伊勢独特の石燈籠が五つも続く道があり、この道を明治大帝が始めて伊勢参りせられた事からその名が残っている。歴代の天皇は八回参詣され、歴代の天皇で一番多く、如何に大事件が多かったか、明治天皇は八回参詣され、歴代の天皇を物語っている。歴代の天皇は二十年に一回参詣されているが、皇后様も五回参詣された。

普通学生の参拝旅行は、小学生一泊、中学生二泊、大学生一週間とされている。本年に入り参詣人は三月一杯で八十八万人。年間三百五十万、六十万ということがある。折柄のビジネスで伊勢神宮も参詣者が少なく、今日は珍らしくブラシルデーだといふので、また特に昨年の上遷宮の際には御協力に感謝すると云われ、特別に御神楽を拝観するなどの接待を受け、誠に幸運と云われ、おめでたい。

桜並樹は染井吉野がやや散り初めているが、業桜もまた得も云われ、風情である。神宮は明治数百年から一千年の形が、伊勢と鳥羽市を結ぶスカイラインから

見下ろす海岸に沿った十六時の間が金岡、二十六ある国立公園の一つに指定されている伊勢志麻国立公園である。スカイラインから見下ろす景観は、人造の箱庭を大きくしたようで素晴らしい。中に三重県立陸上運動場などもある。

鳥羽市は、御木本真珠で有名な所である。真珠島パール・アイルランドに渡った。昔は渡船したものだが、現在は立派な橋が架かっている。その下を観光船が通っていた。真珠の生産工程の説明などあり、見学した。また海に浮かぶ幾つかの島々へ渡る観光連絡船など、おもしろい。真珠とともに島羽市は益々発展することであろう。

次号へ

（前回）柿食えば鐘が鳴るなり法隆寺は、芭蕉とあるは子規のあやまりにつき訂正いたします。

### 収容所列島

九回

再び「彼ら」は私を裁くだろう

取調官は、私に対して眠らせず、ウソをいったり、脅かしたりといつた手段を使ったが、これは合法的だった。

私は将校になるまでに半年間、下積みの一兵卒として過している。だから、尊敬し兼ねる人間の命令をいつても聞き、すき腹を抱えて、それを実行できるといふことが何を意味するのか、肌身にしてみてもわかってもらいたくない。兵隊勤めのつらさは十分わかっており、私の面の皮がどんなに厚く、本心とかけ離れているのかも覚えていた。苦だった。

はたしてそうだったろうか。実は全くそうではなかったのだ。私は、肩章に小さな星をます二つ、それから三つ、四つとつけて貰って喜んでしまし、何も彼も忘れたのである。だが、もし私が、少くとも書生扱い自由への愛を失わないでいたら、

だが、ご承知の通り、わが国ではいまだかつて自由などというものにお目にかかったことがない。そのかわりわれわれは軍隊組織と行進を愛してきたのである。将校記章がつけられることになった。私の父や祖父の年配の兵隊たちに対し、私は、きみ、時ばかりをやるようにした。へ、向うはもろろん私を、あなたと呼んだ。そんな兵隊たちを通信補修のため砲弾下の危地に送り出したりもした。私はビスケットに将校特配のバターを

つけて食べ、兵士にないのはどうしてだろうと考えることもなかった。私は無私の自己犠牲が出きる人間だと、私に思っていた。が、同時にいつ何となく、私に思っていた。死刑執行人でもあった。もし私が工場の時代の内務人民委員の士官学校生にいらしたと、この本に政治的暴露物を期待する読者は、ただちに本を閉じた方がよろしかろう。

ルビマンカ監獄内の二人一組の散歩の間に、私はエストニア人のスーシとベアになろうとした。房内でも二人は話をするのだが、大抵は話の散歩のときにすろのがよかった。われわれはすぐには、でもいっしょに打たれたわけではなく、少し時間がかかった。それでも彼は多くのこと話してくれた。子供の頃からずっと私は、どういうわけか、生涯の目的はロシア革命の歴史を書くのだと考えており、それ以外に全く関心がなかった。そして、マルクス主義も、革命を理するのそ以外にまつわりついてくるものすべは切り捨て、遠ざけていた。が、いまや運命は私をスーシにめぐり会わせただ。彼に私とは全く別なインスピレーションの世界があった。

## Organização Rio Branco s/c ADVOCACIA CONTABILIDADE E DESPACHOS

法律のことなら何でもお気軽に

御相談下さい

シンジケ、顧問弁護

民法・刑法・労働法

会計事務一切

デスバツシヨス

保険、生命保険、自動車保険

農業保険、その他の保険

外国入登録、帰化手続

身分証明、その他

プリンテンテ、ウアルガス街一八九

法律、会計事務所  
Dr Dr 小石川雅宏 行

CP. 一〇三番  
FONE. 一〇五番  
八〇番

# 拝啓日本人様

## タイ人より

(一)

▽親切にされたり、物をもらったりしたとき、一度お礼をいえばそれでいいと思ふのに、いつまでも恩にきせる。  
 ▽タイ人はいいわりばかりすると、文句をいう。  
 ▽「タイは暑い」と文句をいう。  
 ▽写真撮るときは、ことわってからにしてほしい。また撮ったあと、お礼くらいいうべきだ。撮った写真を送ってくれる人はいない。  
 ▽「ことば」  
 ▽英語が下手すぎる。  
 ▽タイ語を勉強しようとしなさい。  
 ▽会社で早く日本語をマスターしろといふ。  
 ▽タイ人の英語の発音が悪いという。  
 ▽タイ語が上手だとお世辞をいうと、くしゃべる。しかし、ほんとうのところ、日本人のタイ語はよくわからぬ。  
 ▽日本語を勉強したいという。すぐ手紙を書け、これを読め、日本語に訳せという。また早口でむずかしいことばでしゃべる。  
 ▽大声でしゃべる。日本人は身が悪いのかと思う。

### 夜食

▽すぐ日本料理店へ連れていきたがる。  
 ▽すぐサシミを勧める。  
 ▽日本人の部下ばかりに、おごらないでタイ人にもおごってほしい。これは決してお金の問題ではない。  
 ▽全員、同じものを食べる。また、タイ人にもそうしろという。自分が食べたものを注文したい。  
 ▽大酒を飲む。それも毎日、昼間からのこともある。酔ったまま歩くのは良くない。少しさめてから帰った方がいい。  
 ▽レストランやバーで貸し切りでもないのに大声で歌う。  
 ▽ごはんを食べるのが早すぎる。つまらぬをくわえたまま歩く。  
 ▽私うときどき打って、私が払う、私が払うという。どの場で罰金をするか、後でやった方がいい。  
 ▽タイ料理は辛いと、大げさに言ったり、二オイをかいておろす。また屋台の食物はきたないという。タイ人への侮辱である。  
 ▽黒っぽい背広ばかり着る。または反対に派手な服を着る。  
 ▽サインの出来ない人が商談に来ても意味がない。  
 ▽社長とか部長とかいって、会社が終つてからもペロペロする。タイ人にも尊敬しろという。

しろという。  
 ▽仕事が遅いという。明日でも間にあふことでもたくさんある。また何でも時間通にやれという。  
 ▽仕事が終わって楽しんでいるときでも、仕事のことを話題にする。また残業が多い。日曜日まで働けという。人間は機械ではない。  
 ▽体んだら、遅刻すると、くどくと怒る。  
 ▽電話が通じない。電話に出るのが遅いといつて怒る。  
 ▽何かをするとき、どこかへ行くとき、タイ人にも相談してほしい。  
 ▽運転手が昼寝をしていていたといつて怒る。  
 ▽用事の無い時は寝ているときもある。  
 ▽仕事の前に長々と説教を食ふ。  
 ▽ワイロのことをする。  
 ▽制服が気に入らない。くも強制する。  
 ▽寒くは仕方がないのにクーラを止めてくさい。  
 鏡光  
 ▽団体旅行者が旗を立てたり、名札をつけたりしてゾロゾロ歩くのはおかしい。  
 ▽またお婆さんまでかきつけて見物する。  
 ▽「サワデイ」コンニチワぐらいは言えてもいいと思う。  
 ▽すぐ女の値段と宝珠の値段を聞きながら、タイ人全部がそういう商売ではない。

## 入植祭は雨？

あまり晴天がつかないので、七月十九日(金)になる。早朝から一週間、月十九日(金)になると、早朝から一週間、雨にきくもり、とうやう空模様がおかしな具合になって来た。大気模様というものは、今日の様子からはどうにもならぬもの。今日のことには、一端も生れるわけだが、いよいよ念仏を唱えた肥で降るわけがあるわけ。はい、お天道さまさこえませめと、泣きついてみるより方法は、ないとは、なさけない。

## 祝入植四十一年祭

Fabrica de Granito  
 Av. Rio Branco % C. Post. 23, Fone. 515  
 ADAMANTINA  
 日本式 及 洋式  
 石 彫 像 碑 墓 石 燈 籠 祭 壇  
 石 材 美 術 彫 刻 類 一 切 製 作  
 古 い 墓 の 修 理 も いた し ます  
 ア ジ ナ ナ 市 リ オ フ ラ ン コ 大 通 リ  
 大 西 文 吉  
 大 西 研 究 所  
 郵 函 リ 二 十 三 番  
 電 話 ナ 五 一 五 番



# 祭植ス入ストバ祝 Aviso de Cine Pastos

映写画面の明るさ・セリフの明瞭と音響効果の素晴らしさ

七月二十一日(日) マナネ 九時半  
 松竹 宮本武蔵 前篇 高橋英樹 松原慶子  
 総天 後篇 田宮二郎 笠智衆  
 然色 全篇一巻に上映 倍美美津子 有島一郎

同、七月二十一日(日) 九時半  
 東映 不良 梅宮辰夫  
 然色 番長 空撃第一番 夏純子  
 小林千恵

七月二十三日(火) 二十四日(水) 両夜とも八時  
 東映 総天 づきよ渡世  
 然色

七月二十六日(金) 八時 二十七日(土) 九時半  
 松竹 総天 としとろ  
 然色

七月二十八日(日) 九時半 二十九日(月) 八時  
 東映 博徒新伝隊  
 然色 渡辺恒彦

七月三十日(火) 三十一日(水) 両夜とも八時  
 東映 然色 おんな夜の歌謡シリーズ  
 野川由美子・橋マズミ 遠藤辰雄  
 森進 一・左ト全・梅宮辰夫

▽バスでお寺ばかり見ず、他のところも見てほしい。  
 △大学を観光地とまちがえて、ドマトマ入ってくる。

▽日本の大使館のピサ発行のところの人はもっと親切に教えてほしい。又午後もやわらい。  
 △広報センターではいつも日本人が説明してほしい。

▽日本の映画をもっと紹介してほしい。  
 △大使館の人はこわい。  
 △日タイ関係について、話し合う場をもっと設ける可きだ。

▽現代日本のことをタイ語か英語でもっと紹介してほしい。又雑誌物などはタイ字紙にもっとPRする必要がある。  
 △日本はタイの成長をもっと長い目で見てほしい。

▽日本がタイ人に望むことを、率直に言っしてほしい。  
 △会話中心の日本語学校を作っしてほしい。  
 △日本人の手助けとなることがあれば、タイ人にとってほしい。  
 △と、まあこんな具合である。よくもまあ、これだけ日本人の批判が集まったもの感心する。

同棲時代 「オレ、金婚式と銀婚式けど、紙婚式や木婚式なんてもあるんだってね」  
 「そんならアタシたち、未婚式ってのを」

ナムサン 「十年前ママイ子(山一証券)事件で大騒ぎになったけど、こんどはママニカ」  
 「十年後はママサン？」  
 「いや、この拘捕高が結構ばナムサンだ」

万年安価 「はずれ宝クジでも、何千円もするのがあるんだってね」  
 「今やアンテイーク趣味さ、昔のものはみんな値上りしているんだよ」  
 「古女房だけは、どうしようもないな」

モナリ座 五歳の坊やが「ママ、ぼくモナリサチがいしちや、てた」  
 「どういうこと」  
 「モナリサチって絵だっただね、ボク星座とばかり思ってた」

年の数 「昔から節分には年の数だけ豆を食べるんだよ」  
 「お婆さん、豆も高いかう、一粒を年の数だけかんでちょうだい」